

一人ひとりが 取り組む防災

その備えが家族を守る



阪神・淡路大震災

平成7年(1995年)
阪神・淡路大震災
(兵庫県南部地震)

M7.3

平成23年(2011年)
東日本大震災
(東北地方太平洋沖地震)

M9.0

平成28年(2016年)
熊本地震

全国どこでも
地震の被害はある

阪神・淡路大震災から23年、東日本大震災から7年、熊本地震から2年。度重なる自然災害の発生により、一人ひとりの防災への関心は確実に高まっています。

震災発生前、直後、その後……。その時々で、できることや必要なことは変わってきます。必ず来る[その時]のために、今、自分でできることを考え、備えができているか、もう一度確認しましょう。

家の中の安全対策

防災本P23

震災時のけがの原因は、地震発生直後の家具転倒や落下によるものが多くを占めます。家族の命を守る第一歩として対策を進めましょう。

家具の置き方、工夫していますか？

寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。置く場合は、なるべく背の低い家具にし、倒れた時に出入り口をふさがないように、向きや配置を工夫しましょう。

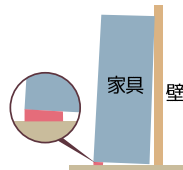
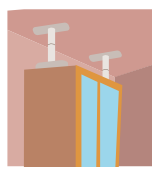
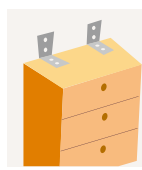


出入り口を
ふさがない



家具がすぐに転倒しないよう、固定していますか？

タンスや食器棚など、倒れてくると危険なものは事前に固定しましょう。また、窓ガラスは割れる可能性がありますので飛散防止フィルムを貼るなど対策を進めましょう。



Q 家具の固定で一番強度が高い方法を教えてください。



A L型金具です。突っ張り棒とマット式器具の併用で同等の効果があります。



必要な備蓄品対策

防災本P41・42

電気やガス、水道などが止まった場合に備えて、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておきましょう。

食料・水・トイレ

使いながら備蓄するローリングストック法(※)を活用し、3日分(できれば1週間分)の水や食料を備蓄しましょう。災害時には、トイレの水が出ない・流せない場合があります。携帯用トイレやゴミ袋などを活用した対策を進めましょう。

※ ローリングストック法



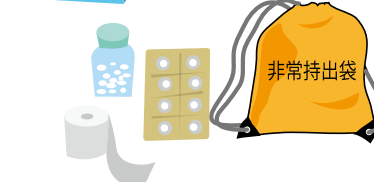
生活消耗品

カセットコンロ、乾電池、LEDランタン など



非常持ち出し品

持病の薬や替えの衣類など、とりあえず必要なものをすぐに持ち出せる場所にまとめておくと便利です。



Q なぜ1週間分の備蓄が必要なの？



A 熊本地震の教訓から、物流の復旧や行政支援体制が整うのに1週間くらいかかると想定されているからです。



もしもの時はどう行動したら

防災本P21・24

強い地震の揺れを感じた、緊急地震速報を見聞きした場合は、慌てず、まず身の安全を確保しましょう。

家の中

頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難しましょう。慌てて外へ飛び出すのは危険です。



屋外(外出先)

頭をかばんなどで守りましょう。ブロック塀の倒壊や、看板や割れたガラスの落下に注意が必要です。



人が大勢いる施設

慌てて出口に走り出さず、係員の指示に従いましょう。

Q 私の携帯電話やスマートフォンで、緊急地震速報を受信できますか？



A 契約している会社に確認してください。

また、スマートフォンであれば「YAHOO!防災速報」アプリを使って受信できます。



地震発生!安全に避難を

防災本P38~40

地震が起きた時に慌てず避難するために、ハザードマップ(防災本)を入手し、避難場所、避難経路を事前に確認しましょう。



地震発生

危険・被害がない

危険・被害がある

在宅避難

避難場所

公園など一時的に身の安全を図る場所

避難所

学校など一定期間生活するための施設

自宅に被害がない

自宅に被害がある

在宅避難のメリット

他の人と寝食を別にするので、過剰な配慮の必要がありません。

震災時、自宅に倒壊や火災の危険がなければ、近くの小・中学校などの避難所へ行く必要はありません。そのためには、自宅の耐震化、家具の転倒防止やガラスの飛散防止などの安全対策、食料や水を3日以上備蓄しておくなど、事前の準備が重要です。自宅で生活できるように備えておきましょう。ただし、避難勧告や避難指示が出された場合は速やかに避難してください。

Q 在宅避難で食料がなくなったらはどうしたらいいですか？



A 避難所では、非常用の食料を提供しています。数に限りがあるので、必要に応じて提供を受けてください。



家族で共有する安否確認方法

防災本裏表紙

災害発生直後は、電話がつながりにくくなります。家族で安否を確認できるよう、確認方法や集合場所などを、事前に話し合っておきましょう。

災害伝言ダイヤル171

被災地への通信がつながりにくい場合に提供が開始される声の伝言板です。

災害用伝言板 web171

災害時に文字で登録した安否情報を、あらかじめ指定した家族や友人に対して、メールや電話で伝言として届けます。

防災本

ハザードマップや災害時の備えを掲載している防災本を配布しています。



配布場所

- 本庁舎 ●支所 ●公民館
 - 川口駅前行政センター
 - 防災課(鳩ヶ谷庁舎4階)
 - 消防局 ●南・北消防署
- ※市ホームページからもご覧になれます。

問い合わせ・・・防災課 ☎048-242-6358 FAX048-281-5765